

目がかゆいは眠気のサイン 運転時の休憩は2時間ごとに

2時間走行、15分休憩 守ろう！ 自分の命、他人の命

作業終了後、ブーム格納してアウトリガーしまって、
忘れものないか確認する

居眠り運転の男に禁錮3年8か月の実刑判決

「眠気を感じたのに直ちに運転を中止しなかった」

追突事故で2人死亡

2020/11/18(水) 20:04

去年10月、愛媛県の高速度道路のトンネル内で居眠り運転をして2人が死亡する追突事故を起こした男(44)に対し、地裁は18日、禁錮3年8か月の実刑判決を言い渡しました。裁判官は、「法定速度を大幅を超える時速120キロから130キロで走行を続け、眠気を感じたのに直ちに運転を中止しなかった」と指摘しました。そして、「過失の程度は極めて大きく、一方的に命を奪われた被害者の無念の思いは察するにあまりある」と述べ禁錮3年8か月の実刑判決を言い渡しました。

ユニック車がブームを下げ忘れ、電話線をひっかけ

後続の箱車のトラックが、たるんでいた電話線に引っ掛かり、横転

2020/11/18(水) 20:03

18日午前8時半ごろ、広島県の市道で、走行中のユニック車のブームが電話線にひっかかる事故があり、さらに数分後、後ろから来た別のトラックが、事故のはずみでたるんでいた電話線にひっかって横転しました。この事故によるケガ人はいませんでしたが、付近の住宅などで通信に影響が出たほか、事故処理などのため、およそ3時間半に渡って道路が通行止めとなりました。